

● 鳳匠祭

11月3日(火・祝)、第11回『鳳匠祭』を開催しました。毎年文化の日に行われている鳳匠祭は、企画から準備、運営までを学生主体で行う当校の学園祭です。今年は新型コロナウイルス感染症感染拡大予防の観点から学生、学校関係者のみによる開催となりました。

模擬店コーナーでは、焼き鳥や焼きそばなどの販売が好評で、学生は調理に追われながらも充実した様子でした。ステージイベントの「クイズ大会」や「ゲーム大会」では学科、学年の垣根を越えて競い合い、会場は大盛り上がりでした。ステージイベント最後のプログラム「ビンゴ大会」では、PS4やNintendo Switchなどの豪華賞品が当たる度に会場から「おー！」と歓声が上がリ、盛況のうちに閉幕しました。



大混戦のスマブラ大会!



クライマックスの「ビンゴ大会」は一番の盛り上がりでした。



● 特集 総合制作実習

総合制作実習とは、5名前後のチームでテーマを設定し、2年生時の1年間を通して開発から設計、加工、組立て、報告までを行う科目です。この総合制作実習を通して実践的な「ものづくり」を経験し、チーム単位で製品開発における技量を身に付けます。

生産技術科のテーマ一覧(4テーマ)

1. 薪割り機の製作
2. セグウェイの設計・製作
3. スターリングエンジンを用いたRCカーの製作
4. 低燃費自動車の製作

電子情報技術科のテーマ一覧(5テーマ)

1. MyCPUの設計・製作
2. AR(拡張現実)を使った作業支援システムの構築
3. リモートロボットを活用した学校探検システムの開発
4. スマートキーとスマートリモコンの操作
5. コロナ対策機器の製作

1月30日(金)のポリテックビジョンin穴水に向けて、日々製作に励んでいます!

● 今年最後! 第8回&第9回 オープンキャンパス開催!

“ものづくり”体験&施設見学ツアーを実施!

【開催日】第8回:令和2年11月21日(土)、
第9回:令和2年12月20日(日)

昼食は学食にて無料提供。
金沢駅・穴水駅から無料送迎あり。
※お申込み・詳細は、お電話もしくは当校HPまで。

● 入校試験情報 願書受付中!

● 出願期間

- 公募(一般)推薦(専願)・自己推薦(併願可)
- C日程:令和2年11月26日(金)~12月4日(金)
 - D日程:令和2年12月21日(月)~令和3年1月8日(金)
- 一般入試
- 令和3年1月6日(水)~1月27日(水)

● 試験日

- 公募(一般)推薦(専願)・自己推薦(併願可)
- C日程:令和2年12月11日(金)
 - D日程:令和3年1月19日(火)
- 一般入試
- 令和3年2月4日(日)

生産技術科

『エコマラソン長野2020』に挑戦!

「1リットルのガソリンで何キロメートル走れるか」を競う大会で、例年開催される『Hondaエコマイレージチャレンジ全国大会(コース:ツインリンクもてぎ)』という競技会への出場を目標に、当校生産技術科エコカーチームは、低燃費車両(エコカー)の設計製作に取り組んでいます。

今年新型コロナウイルスの影響で、東京オリンピック開催延期をはじめとして様々な大会やイベントが中止となりました。目標としていた前述の競技会も残念ながら中止となりました。そこで、低燃費車両性能を競う『エコマラソン長野2020(コース:エムウェーブ)』という別の競技会に目標を切り替え取り組むこととしました。

この競技会には、学生から社会人までの様々なチームが省燃費車両を自作して、今年は26台の車両(うち、ガソリン車両16台、電動車両10台)が参加しました。当日は天候に恵まれ、レースは無事に実施されました。ところがレース当日、当校チーム車両が練習走行中に重要な部品が壊れて走行不能となり、あわやリタイアかという程の大トラブルに見舞われました。修理・調整に約3時間費やし、レース開始時刻までに何とか間に合わせる事ができました。

レースの結果、当校チームはガソリン車両クラス16台中、2位(燃費299km/リットル)という成績でした!同じ車両で走行しても使用コースによって燃費はかなり変わるため、他チームのデータも参考に換算するとチーム目標燃費に近い結果でした。

この競技会に出場した学生たちは、休講期間あけの6月上旬から本格的に制作作業をスタートし、毎日放課後の時間も使って遅くまで制作作業に取り組んできました。レース本番の結果だけでなく、これまでの製作過程で得た苦労や経験、チームワークは、彼らの一生の財産となることでしょう。

最後に、若い皆さんへのアドバイスをひとつ。勉強や部活動、学級活動、作品制作などに対して「①本気で、②たっぷり時間をかけて、③失敗してもあきらめずそこから学ぶ」取り組みを学生時代にぜひ経験してみてください。忘れられない思い出になるだけでなく、このような経験が皆さん自身を大きく成長させ、きっと“心の底力”をアップにつながります。



空気抵抗をできる限り減らした2020バージョンのマシン! ドライバーは仰向けに寝そべる様な姿勢で乗っています。

★生産技術科エコカーチームメンバー(2年生)★

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ◇生田 真介
(石川県立金沢西高校出身) | ◇河岸 優奈
(石川県立野々市明倫高校出身) |
| ◇川端 永遠
(石川県立金沢北陵高校出身) | ◇五天 貴之
(石川県立金沢向陽高校出身) |
| ◇長谷 真拓
(福山県立志貴野高校出身) | |

電子情報技術科

学生日本一決定戦にて第3位!

10月30日に幕張メッセで実施された、「情報ネットワーク施工」職種 学生日本一決定戦に、電子情報技術科2年の安田 圭伸君(七尾城北高校出身)と中島 勇汰君(遊学館高校出身)が出場しました。その結果、安田 圭伸君が見事第3位となりました。「情報ネットワーク施工」職種は、テレワークやオンライン授業、情報化社会に欠かすことのできない通信工事に必要なLANケーブルや光ファイバの施工に関わる技術を競います。

2人は、春から同職種で技能五輪の初出場を目指し練習してきました。「技能五輪(ぎのうごりん)」とは、学生、社会人問わず原則23歳以下の技能者が様々な職種において自身の持っている技術・技能を競う大会です。残念ながら、6月の技能五輪学生予選会には敗れましたが、今回新たに学生日本一決定戦に挑戦し、見事3位となりました。2人は、今後技術者として活躍するために良い経験ができたと考えています。

コロナに負けず、今年も技能検定や検定試験に挑戦!

毎年、1年生全員(既合格者は除く)が、電子機器組立て3級に挑戦しています。今年はコロナの影響で前期の検定が中止となり、カリキュラムを変更して、後期に挑戦することにしました。電子機器組立て3級は、はんだ付けを初めとした電子機器組立ての全般にわたる基本的で高度な技術が要求されます。初めてはんだ付けをする学生もいますが、関連する実習での取り組みや、放課後を使った練習などで技術を身に付け、12月に実施される検定の合格に向け、現在取り組んでいます。

また、それと並行して、後期の第二種電気工事士の資格取得に向け、1,2年の希望者が通常の授業に加え、補習授業を希望して合格を目指しています。



学生日本一決定戦競技風景(安田圭伸君)



左から 指導員 江村、安田圭伸君、中島勇汰君



電子機器組立て3級



第二種電気工事士